

ptexindy について

ptexindy は, xindy に基づいた platex, uplatex 用の index processor です。
lualatex, xelatex と共に使用することもできます。

Usage: ptexindy [-no-nkf] [additional xindy options] idx_file

なお, ptexindy は

`-M texindy -M page-ranges -L japanese -C utf8`

なるオプションを付けて pxindy を実行するので,

additional xindy options

には上のものを含める必要はありません。

全て UTF-8 で処理しますが, 必要なときは内部で nkf で変換するので, ユーザが意識する必要はありません。PATH に nkf があることは必要です。ただ nkf が無くても失敗にはなりません。UTF-8 であることを仮定して, 処理を続けます。UTF-8 であることがわかっていて, nkf で処理したくないときは, 最初のオプションとして `-no-nkf` を指定すればよくなっています。ただし, 最初のオプションではない場所で `-no-nkf` を指定すると, xindy に対するオプションと解釈するのでエラーになります。また xindy は perl を必要とします。ソースで日本語のインデックスに対しては, 平かなだけのものを除いて, 全て平かなの読みを付けなければいけません。

Example: `\index{きんせい@金星}, \index{ひつぐす@ヒッグス}`

ディレクトリ `texmf-dist/doc/support/ptexindy` に, インデックススタイルファイルの例 `stysample.xdy` を入れています。

`ptexindy -M stysample idx_file`

のようにして使用します。stysample.xdy はソースと同じディレクトリに入れておきます。

TeX Live-win32, TeX Live-Unix に ptexindy をインストールするには, ディレクトリ `texmf-dist/doc/support/ptexindy` にある `INSTALLPTEXINDY.utf8.txt` を読んで下さい。